

庁議報告事項

開催日：平成27年7月27日(月)

1 市長から

- 土日は各種イベントや、地域の祭りなどが開催された。職員の姿も見受けられ、参加した職員は、対応、ご苦労さまでした。
- 本日からサマーレビューが始まる。議題についてディスカッションしたいので、よろしく願います。
- 株式会社ワーク・ライフバランスの代表取締役社長である小室 淑恵氏が提唱する「人口減少下における地域経済再生・雇用を作る方法」について、人口が爆発的に増加する「人口ボーナス期」から、人口構造の変化が経済にマイナスに働く「人口オーナス（重荷・負担）期」に突入し、労働人口より支えられる側の人口が多くなる時代における企業の在り方については、仕事と家庭（育児・介護等）のバランスが取れないと優秀な人材が確保できない状況となっている。特に、短時間で就業時間内に成果を上げる取り組みが求められており、各部局でも生産性向上について検討を行うこと。（詳細は資料に沿って説明）
- 医療・介護連携を進める取り組みについて、平成26年6月に、いわゆる医療介護総合確保推進法が公布され、今後、順次施行が行われる。平成30年度の介護報酬と診療報酬の同時改定に向け、今後、医療計画と介護保険事業計画については、大きく動いていくことが予想されることから、制度について十分、周知しておくこと。また、これまで、高知市は、人口あたりの療養病床の数が突出していると国から批判を受けてきたが、介護保険施設等を含めた数値では、突出している状況にないことが明らかになってきたので、この点についても周知しておくこと。（詳細は資料に沿って説明）

2 吉岡副市長から

- 土日に行事に参加した職員は、ご苦労様でした。
- 先ほど市長より、ワーク・ライフバランスの話があったが、人口減少時代における仕事の進め方については、自ら業務のスケジュール管理を行い、優先順位を付けるこれまでの取り組みを、更に進めていかななくてはならないことを示している。雇用を創出していく取り組みは、市として取り組んでいく必要があるが、仕事の進め方については、行政がモデル的な取り組みを示す必要もあるので、対応をよろしく願います。
- 医療介護連携については、今後、総合戦略の中でも、少子・高齢化は重要な取り組みとなることから、単に健康福祉部だけの問題として捉えるのではなく、国の政策や、各種の数値を頭に入れながら、部局間が連携して、どんな政策を打って出ることができるかを考えるきっかけとしてもらいたい。

3 井上副市長から

- ワーク・ライフバランスの取り組みについては、経済産業省でも、コンサルが入り、取り組みを進めてきた。各部局にモデル課を設置し、昼休みを利用しながら協議を行い、具体的な取り組みとして、週1回の連絡会を立席で行うことや、資料のカラー化などで業務効率を上げる取り組みを行ったほか、月1回、強制的に有給休暇を計画取得することで、仕事と家庭の両立を図る取り組みも行っているので、参考にしてほしい。

4 各部局から

○ 報告事項

- ・「男女共同参画の日」について（市民協働部）
- ・「人権・平和強調旬間」事業への参加及び期間中のワッペン着用について（市民協働部）
- ・第27回浦戸湾・七河川一斉清掃実績について（市民協働部）
- ・平成27年度 第1回高知市都市再生協議会について（都市建設部）

○委員会審議状況報告

- ・南海地震対策調査特別委員会（防災対策部）